

平成 27 年 6 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社 ウィズ
 代表者 代表取締役社長 横井昭裕
 (コード番号 7835)
 問合せ先責任者 経営企画部長 大関浩一
 電話番号 03-3534-3180

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月期の個別実績値と前期実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 個別業績の前期実績値との差異について

(金額の単位：百万円)

平成 27 年 5 月期（通期）個別業績と前期実績値との差異（平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A) (平成 26 年 5 月 期)	934	△ 391	△ 405	△ 131.51
当 期 実 績 (B) (平成 27 年 5 月 期)	1,745	△ 200	△ 203	△ 65.98
増 減 額 (B - A)	810	191	201	
増 減 率 (%)	86.8	—	—	

差異の理由

平成 27 年 5 月期においては、当社の主力製品シリーズ「TAMAGOTCHI 4U」を平成 26 年 9 月 27 日より発売し、当期の当社売上に大きく貢献し、結果、売上高は、前期実績に比較して 8 億 10 百万円程度、増加しております。しかしながら、利益面においては、最終的な黒字化を目指してまいりましたが、期末に向けて主に「TAMAGOTCHI 4U」、その他の OEM 製品及びオリジナル商品が見込み販売数に比して減少したこと、また、一部の売上総利益率の高いオリジナル商品が次期へずれたこと等により、前期実績を上回るものの経常損失 2 億円、当期純損失 2 億 3 百万円となりました。

また、子会社である WIZ(H.K.)LTD. の取扱高等の減少に伴い収益性が悪化したため、当社から同社への貸付金の一部を貸倒引当金として計上したこと等により、個別業績の経常損失、当期純損失は連結業績に比較して拡大しております。なお、当該貸倒引当金は連結上相殺消去されております。

以 上